

令和7年度（第67回）水道週間の実施状況

－各水道事業体水道週間実施報告から－

日本水道協会調査部調査課

1. はじめに

(1) 水道を取り巻く現状

我が国の水道は、今やほぼ全ての国民が利用できるまでに普及しており、健康で文化的な国民生活や様々な社会経済活動を支えるうえで必要不可欠な生活基盤施設となっている。

一方、水道施設の老朽化の急速な進行や耐震化の遅れ、人口減少に伴う料金収入の減少等の課題に直面していることも現実である。こうした水道を取り巻く時代の変化に対応し、将来にわたり持続可能な水道とするためには、水道の基盤強化に早急に取り組む必要がある。

また、東日本大震災や令和6年能登半島地震等、近年の大規模災害等を教訓にして、災害に強い水道づくりや、全国の水道事業体による被災地への広域応急給水・復旧体制整備など、災害対策、危機管理面の強化も必要である。

(2) 水道週間の概要

水道週間は、こうした水道を取り巻く状況を踏まえ、国民各層に対して、水道の現状や課題について理解を深め、今後の水道事業の取組みについて協力を得るために、関係者が連携して広報活動等を重点的に実施するものである。

本週間を主催する国土交通省及び環境省が策定した実施要綱の概要は以下のとおりである。

- 名称 第67回「水道週間」
- 期間 令和7年6月1日（日）から6月7日（土）まで
- スローガン 「透き通る 誇れる水に 感謝する」
- 実施目標
 - ① 災害に強い水道づくりのため、水道施設・管路の耐震化の促進について、国民の理解と協力を求めること。
 - ② 喝水への対処や将来にわたり安定して水道水を供給するため、水道水源の水量確保や節水、水道施設の維持・修繕及び計画的な更新の重要性について、国民の理解を求めること。
 - ③ 消毒副生成物や病原性微生物問題等の水質問題への対応を含めて、安全で良質な水道水の供給を確保するため、水道水源の水質保全や高度浄水施設の整備について、国民の理解と協力を求めること。
 - ④ 給水装置に関する制度の円滑な実施を図るとともに、維持管理の重要性について理解と協力を求めること。
 - ⑤ 水道事業経営の仕組みや水道料金等について、正しい知識を提供し、理解を得ること。
 - ⑥ 簡易専用水道や小規模貯水槽水道の管理につい



図-1 第67回水道週間ポスター

て、正しい知識を提供し、管理の重要性について理解を得ること。

- ⑦ 水道事業ビジョン（地域水道ビジョン）について、公表により需要者への情報提供と理解の向上を図ること。

2. 各水道事業体の活動状況

(1) アンケートの概要

本協会では、水道週間等の活動を通じて水道に関する広報活動を効果的に推進するための基礎資料を得ることを目的として、全正会員1,290団体に対して、水道週間の実施状況についてアンケート調査を実施した（表-1、表-2）。

その結果、718団体より回答があり、回答のあった正会員のうち、87.7%が水道週間期間中に広報活動を実施しており、昨年度と比べて1.4ポイントの減となった（表-3）。

以下、各地の実施報告を中心に、その内容を紹介する。

表-1 アンケート回答結果

項目	今年度	昨年度
調査対象数	1,290	1,322
有効回答数	718	752
無回答、不明	572	570
回答率	55.7%	56.9%

表-2 地方支部別回答数

地方支部名	正会員数	回答数	割合	昨年度
北海道	136	53	39.0%	38.2%
東北	164	90	54.9%	56.1%
関東	234	155	66.2%	65.7%
中部	260	153	58.8%	63.3%
関西	141	92	65.2%	60.6%
中国四国	137	72	52.6%	52.1%
九州	218	103	47.2%	52.1%
合計	1,290	718	55.7%	56.9%

表-3 水道週間中の広報活動の実施状況

	回答数	割合	昨年度
実施した	630	87.7%	89.1%
実施していない	88	12.3%	10.9%
合計	718	100.0%	100.0%

(2) 広報媒体・イベント

水道週間に係る広報活動については、86.8%が「ポスター」を利用して実施している。また、47.6%が「広報誌（紙）」を利用して実施している。これらは、従前より水道週間の広報媒体として上位を占めており、定着率が高いものとする。これ以外に活用した広報手段としては、実施数が多い順に「ホームページ」（42.9%）、「小・中学校などへの文書の配布」（39.0%）、「のぼり旗」（26.8%）、「広報グッズ」（25.9%）となっている（表-4）。

また、水道週間期間中に実施したイベントや行事については、広報活動を実施した正会員のうち54.6%がイベントや行事を実施しており、「水道施設の見学会・一般開放」の実施が最も多かった（表-5）。

その他のイベントについては、水道モニターとして活動している方に1日企業長を体験してもらい水道事業に対する理解と関心を深めてもらうという報告もあった。なお、各イベント等の結果については後述する。

(3) 広報・広聴の内容

広報・広聴の内容として、「水道週間の趣旨・標語の掲載」をした団体が81.0%と最も多く、次いで「水道週間行事の紹介・参加募集」(22.9%)、「水道水の水質」(18.7%)であった。その他には「防災・災害の備え」(13.8%)や施設の耐震化を含む「水道工事」(11.3%)、「水道事業の経営」(6.5%)についても取り上げ、水道事業全体に係るお客様の理解を促進する情報や自助意識を高める情報を発信している(表-6)。

表-4 水道週間の実施にあたり活用した広報媒体(複数回答)

n=630

項目	①広報誌(紙) (地方公共団体及び水道事業体作成を含む)	②ポスター	③チラシ	④ホームページ	⑤ SNS	⑥メールマガジン	⑦検針票のお知らせ欄
実施数	300	547	75	270	128	6	10
実施率	47.6%	86.8%	11.9%	42.9%	20.3%	1.0%	1.6%
昨年度実施率	50.3%	86.6%	11.0%	43.0%	19.3%	1.0%	1.0%
項目	⑧小・中学校などへの文書配布	⑨庁内広報掲示板	⑩懸垂幕	⑪のぼり旗	⑫横断幕	⑬立て看板	⑭電光掲示板
実施数	246	134	141	169	92	76	40
実施率	39.0%	21.3%	22.4%	26.8%	14.6%	12.1%	6.3%
昨年度実施率	37.8%	20.7%	22.4%	24.8%	14.2%	7.5%	5.1%
項目	⑮広報車	⑯防災無線	⑰広報グッズ	⑱マスメディア	⑲動画の作成・公開 (YouTube等)※	⑳模型※	㉑その他
実施数	13	6	163	120	13	21	42
実施率	2.1%	1.0%	25.9%	19.0%	2.1%	3.3%	6.7%
昨年度実施率	2.4%	1.6%	23.7%	19.7%	2.5%	1.9%	6.1%

※令和6年度より調査を開始した項目

表-5 実施したイベント・行事(複数回答)

n=630

項目	①水道施設の見学会・一般開放	②作品募集 (図画、標語、作文、写真、書写など)	③水道相談所の設置	④アンケート調査	⑤街頭啓発	⑥奉仕活動 (清掃、植樹、無料点検など)	⑦広報ビデオの上映
実施数	108	59	16	53	38	74	33
実施率	17.1%	9.4%	2.5%	8.4%	6.0%	11.7%	5.2%
昨年度実施率	17.9%	9.3%	3.0%	7.0%	6.0%	12.5%	3.6%
項目	⑧水道出前授業	⑨講演会	⑩パネル・模型展示※	⑪①～⑩に含まれないイベント・行事	⑫イベントは実施していない		
実施数	30	0	96	63	286		
実施率	4.8%	0.0%	15.2%	10.0%	45.4%		
昨年度実施率	3.3%	0.1%	12.1%	10.1%	46.4%		

※令和6年度より調査を開始した項目

表-6 広報・広聴の内容（複数回答）

n=630

項目	①水道週間の趣旨・標語の掲載	②水道週間行事の紹介・参加募集	③水道施設見学会開催案内・参加募集	④水道水の水質（飲用・安全性など）	⑤水道水の使用状況	⑥給水装置・給水管の維持管理	⑦水道料金
実施数	510	144	73	118	21	53	54
実施率	81.0%	22.9%	11.6%	18.7%	3.3%	8.4%	8.6%
昨年度実施率	82.5%	24.0%	9.6%	18.2%	4.8%	8.8%	7.0%
項目	⑧水道工事（水道施設の耐震化含む）	⑨防災・災害の備え	⑩水道メーカーの検針	⑪水道事業の経営	⑫水源開発・節水の重要性	⑬水道水源の水質保全	⑭水道の加入促進
実施数	71	87	40	41	18	34	10
実施率	11.3%	13.8%	6.3%	6.5%	2.9%	5.4%	1.6%
昨年度実施率	10.0%	14.5%	6.6%	4.3%	2.8%	5.1%	1.6%
項目	⑮給水区域	⑯漏水に関するお知らせ	⑰水質検査などを装った悪質商法への注意喚起	⑱貯水槽水道の管理・点検	⑲地域水道ビジョン	⑳その他	
実施数	17	57	6	9	17	43	
実施率	2.7%	9.0%	1.0%	1.4%	2.7%	6.8%	
昨年度実施率	1.6%	10.1%	0.7%	2.1%	2.1%	8.1%	

(4) 広報グッズ

水道週間期間中のイベント等の際に「広報グッズ」の配布を行った団体は25.9%の163団体が実施した（表-7）。配布したグッズは、水道事業等を紹介する「パンフレット」が47.9%と最も多かった。次いで、「ティッシュ」（32.5%）、水道事業体で作成した「ボトルウォーター」（30.7%）となっている（表-8）。また、その他の事例として、水源林間伐材のコースターや、ステンレス製のマイボトルといったSDGsを意識した広報グッズを配布したという報告もあった。

表-7 広報グッズの配布

	回答数	割合	昨年度
実施した	163	25.9%	23.7%
実施していない	467	74.1%	76.3%
合計	630	100.0%	100.0%

表-8 広報グッズの配布内容(複数回答)

n=163

項目	①パンフレット	②筆記用具	③ノート・メモ帳・付箋	④下敷き	⑤クリアファイル	⑥定規	⑦ティッシュ
実施数	78	37	9	26	24	11	53
実施率	47.9%	22.7%	5.5%	16.0%	14.7%	6.7%	32.5%
昨年度実施率	37.7%	25.2%	4.4%	12.6%	12.6%	6.3%	32.1%
項目	⑧ハンドタオル・ハンカチ	⑨トートバッグ(エコバッグ)	⑩ボトルウォーター(ペットボトル・缶)	⑪飲料用水袋	⑫防災・防犯グッズ	⑬キッチングッズ	⑭バス・洗面グッズ
実施数	4	22	50	28	10	3	6
実施率	2.5%	13.5%	30.7%	17.2%	6.1%	1.8%	3.7%
昨年度実施率	4.4%	12.6%	29.6%	15.7%	5.0%	5.0%	2.5%
項目	⑮救急・応急グッズ	⑯うちわ	⑰パソコン・スマホ周辺グッズ	⑱シール	⑲風船	⑳玩具(缶バッジ・キーホルダー・ストラップ)	㉑花・観葉植物・種
実施数	2	16	0	14	5	11	11
実施率	1.2%	9.8%	0.0%	8.6%	3.1%	6.7%	6.7%
昨年度実施率	0.6%	7.5%	0.0%	6.9%	3.1%	6.9%	8.2%
項目	㉒修繕セット(パッキン・節水コマ)	㉓その他					
実施数	7	25					
実施率	4.3%	15.3%					
昨年度実施率	6.3%	19.5%					

(5) マスメディア

マスメディアを活用した広報を実施した団体は19.0%の120団体であった(表-9)。媒体別では、「新聞」を利用した団体が75.0%と最も多く、次いで「ラジオ」(30.0%)、「テレビ・CATV」(20.0%)となっている(表-10)。

マスメディアの活用は、話題性・影響力等から、最も広報効果の大きい媒体の一つである。単独スポットあるいは企画物の番組制作は費用面で難しいこともあるが、水道週間イベントの告知や水道週間期間中のイベントの様子の取材を受け(パブリシティ)、水道施設の紹介や水道の大切さのPRに繋げることも有効である。

表-9 マスメディアを活用した広報活動

	回答数	割合	昨年度
実施した	120	19.0%	19.7%
実施していない	510	81.0%	80.3%
合計	630	100.0%	100.0%

表-10 広報で活用したマスメディア(複数回答)

n=120

項目	①ラジオ	②テレビ・CATV	③新聞	④雑誌・タウン誌(紙)(地方公共団体作成の広報紙を除く)	⑤その他
実施数	36	24	90	6	4
実施率	30.0%	20.0%	75.0%	5.0%	3.3%
昨年度実施率	37.9%	24.2%	69.7%	6.1%	3.0%

(6) 水道施設の見学会及び一般開放

水道施設の見学会及び一般開放については17.1%の108団体が実施した（表-11）。

見学会及び一般開放の実施対象施設については、「浄水場」を対象としたものが86.1%と最も多く、次いで「中央監視室」（21.3%）、「配水池」及び「水源地」（16.7%）となっている（表-12）。

見学会及び一般開放の対象者としては、「小学生」を対象としたものと、参加者を限定しない一般市民の受け入れは同率の47.2%となっている。（表-13）。

表-11 水道施設の見学会及び一般開放の実施

	回答数	割合	昨年度
実施した	108	17.1%	17.9%
実施していない	522	82.9%	82.1%
合計	630	100.0%	100.0%

表-12 水道施設の見学会及び一般開放で対象となった水道施設（複数回答）

n=108

項目	①浄水場	②水源地	③配水池	④水質検査施設	⑤中央監視室	⑥その他
実施数	93	18	18	11	23	9
実施率	86.1%	16.7%	16.7%	10.2%	21.3%	8.3%
昨年度実施率	84.2%	15.0%	18.3%	9.2%	25.0%	10.0%

表-13 見学会及び一般開放の対象者（複数回答）

n=108

項目	①小学生	②中学生	③給水区域内の住民	④自治会等	⑤参加者は限定しない	⑥その他
実施数	51	1	7	1	51	7
実施率	47.2%	0.9%	6.5%	0.9%	47.2%	6.5%
昨年度実施率	48.3%	0.8%	5.8%	1.7%	41.7%	5.8%

(7) 作品募集

図画や標語等の作品募集は水道について考えるきっかけとなり、水道への関心を高めるうえでも効果が大きいと考えられ、これらの作品募集については、9.4%の団体が実施している（表-14）。

募集した作品については、「図画」が83.1%と最も多く、その後「書写」（49.2%）、「標語」（39.0%）と続いている（表-15）。

作品募集の対象者としては、「小学生」が84.7%と最多で、次いで「中学生」（47.5%）、「参加者は限定しない」（10.2%）となっている（表-16）。

また、作品募集を実施した団体のうち、64.4%の38団体が募集した作品の展示会・表彰式を開催している（表-17）。

表-14 水道に関する図画等の作品募集の実施

	回答数	割合	昨年度
実施した	59	9.4%	9.3%
実施していない	571	90.6%	90.7%
合計	630	100.0%	100.0%

表-15 作品募集の内容(複数回答)

n=59

項目	①図画	②標語	③作文	④写真	⑤書写	⑥その他
実施数	49	23	20	5	29	1
実施率	83.1%	39.0%	33.9%	8.5%	49.2%	1.7%
昨年度実施率	87.1%	40.3%	35.5%	11.3%	45.2%	4.8%

表-16 作品募集の対象者(複数回答)

n=59

項目	①小学生	②中学生	③給水区域内の住民	④自治会等	⑤参加者は限定しない	⑥その他
実施数	50	28	3	0	6	5
実施率	84.7%	47.5%	5.1%	0.0%	10.2%	8.5%
昨年度実施率	87.1%	53.2%	6.5%	0.0%	8.1%	11.3%

表-17 募集した作品の展示会・表彰式の開催

n=59

	本年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	38	64.4%	61.3%
実施していない	21	35.6%	38.7%
合計	59	100.0%	100.0%

(8) 水道相談所

水道相談所の開設状況については、2.5%の16団体が「実施した」と回答した(表-18)。

相談所の設置場所は、「イベント会場」及び「庁舎内」がともに43.8%で大半を占めている(表-19)。

相談内容としては、「給水装置・給水管の維持管理」に関する相談の割合が37.5%と最も多かった。

次いで、「水道料金」(31.3%)、「水道水の水質」(18.8%)、となっている(表-20)。

表-18 水道相談所の設置

	本年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	16	2.5%	3.0%
実施していない	614	97.5%	97.0%
合計	630	100.0%	100.0%

表-19 相談所の開設場所(複数回答)

n=16

項目	①イベント会場	②街頭	③庁舎内	④商業施設	⑤その他
実施数	7	1	7	1	0
実施率	43.8%	6.3%	43.8%	6.3%	0.0%
昨年度実施率	50.0%	5.0%	55.0%	5.0%	0.0%

表-20 相談所の相談内容（複数回答）

n=16

項目	①水道水の水質（飲用・安全性など）	②水道水の使用状況	③給水装置・給水管の維持管理	④水道料金	⑤水道工事（水道施設の耐震化含む）	⑥防災・災害の備え	⑦水道メーターの検針	⑧その他
実施数	3	1	6	5	2	2	1	4
実施率	18.8%	6.3%	37.5%	31.3%	12.5%	12.5%	6.3%	25.0%
昨年度実施率	30.0%	5.0%	40.0%	25.0%	10.0%	5.0%	5.0%	10.0%

(9) アンケート

水道に関するアンケート調査の実施状況については、8.4%の53団体が「実施した」と回答している（表-21）。

アンケートの実施方法は、「イベント等会場調査」が84.9%と最も多く、次いで「インターネット調査」（9.4%）、「街頭調査」（3.8%）となっている（表-22）。

アンケートの内容としては、「水道水の水質」が最多の64.2%、次いで「水道水の使用状況」（49.1%）、「広報活動」（39.6%）、「水道料金」（37.7%）となっている（表-23）。また、その他の事例として、今後取り組んで欲しいことや知りたい情報に加え、水道に対する印象やイベントの満足度、理解度をアンケート調査し、広報の効果を調査する例もあった。

表-21 水道に関するアンケートの実施

	回答数	割合	昨年度
実施した	53	8.4%	7.0%
実施していない	577	91.6%	93.0%
合計	630	100.0%	100.0%

表-22 アンケートの実施方法（複数回答）

n=53

項目	①イベント等会場調査	②街頭調査	③郵送調査	④インターネット調査（メール・SNS含む）	⑤電話調査	⑥訪問調査	⑦その他
実施数	45	2	0	5	0	0	5
実施率	84.9%	3.8%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	9.4%
昨年度実施率	80.9%	4.3%	0.0%	6.4%	0.0%	0.0%	12.8%

表-23 アンケートの内容（複数回答）

n=53

項目	①水道水の水質（飲用・安全性など）	②水道水の使用状況	③給水装置・給水管の維持管理	④水道料金	⑤水道工事（水道施設の耐震化含む）	⑥防災・災害の備え	⑦水道メーターの検針
実施数	34	26	3	20	8	18	1
実施率	64.2%	49.1%	5.7%	37.7%	15.1%	34.0%	1.9%
昨年度実施率	70.2%	55.3%	0.0%	31.9%	10.6%	27.7%	0.0%
項目	⑧水道事業の経営	⑨広報活動	⑩その他				
実施数	6	21	21				
実施率	11.3%	39.6%	39.6%				
昨年度実施率	6.4%	38.3%	27.7%				

(10) 街頭啓発

街頭啓発の実施状況については、6.0%の38団体が「実施した」と回答しており、昨年度と比べ若干増加している（表-24）。

実施場所は、「駅」が31.6%と最多で、次いで「庁舎内」（28.9%）「商業施設」（23.7%）となっている（表-25）。

表-24 街頭啓発の実施

	本年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	38	6.0%	6.0%
実施していない	592	94.0%	94.0%
合計	630	100.0%	100.0%

表-25 街頭啓発の実施場所（複数回答）

n=38

項目	①駅	②庁舎内	③商業施設	④その他
実施数	12	11	9	9
実施率	31.6%	28.9%	23.7%	23.7%
昨年度実施率	32.5%	32.5%	27.5%	30.0%

(11) 奉仕活動

奉仕活動の実施状況については、11.7%の74団体が「実施した」と回答した（表-26）。

活動内容としては、「無料点検」が48.6%と最も多く、次いで「河川などの清掃」（18.9%）となっている（表-27）。

また、無料点検を実施した施設については、「希望者宅」での実施が44.4%で最多であり、次いで「学校・福祉施設」（38.9%）となっている（表-28）。

表-26 奉仕活動の実施

n=74

	本年度		昨年度
	回答数	割合	割合
実施した	74	11.7%	12.5%
実施していない	556	88.3%	87.5%
合計	630	100.0%	100.0%

表-27 奉仕活動の内容（複数回答）

n=74

項目	①河川などの清掃	②水源林の植樹	③無料点検（パッキン交換など）	④その他
実施数	14	3	36	17
実施率	18.9%	4.1%	48.6%	23.0%
昨年度実施率	14.3%	3.6%	52.4%	23.8%

表-28 奉仕活動における無料点検の方法・施設（複数回答）

n=36

項目	①希望者宅	②学校・福祉施設 (保育園・児童館 ・老人ホームなど)	③公園	④その他
実施数	16	14	7	4
実施率	44.4%	38.9%	19.4%	11.1%
昨年度実施率	50.0%	43.2%	25.0%	11.4%

(12) その他の取組み

施設見学会等のイベント開催に併せて、小学生から一般市民まで様々な年齢層を対象に、水道水が作られるまでの過程や、その地域の水道の歴史・取組み等を紹介した広報 DVD を上映したという報告があった（別紙-1）。なお、近年では SNS や YouTube 等の動画配信サービスを活用する事業者が増加し、いつでもどこでも見られるという住民サービスの向上にも寄与している。

また、出前授業では、地域の水道の概要や水道水ができるまでの過程の説明、汙過の実験や応急給水等の体験型の講座を実施する小学生を対象としたもののほか、水道を身近に感じられるよう、イベントに会場した親子や地元の高齢者を対象として実施した講座の報告もあった。（別紙-2）。

その他、水道について PR を図ることを目的として地域住民を対象にイベントを実施し、水道に関するクイズや耐震管の模型や給水車の展示等、水道について楽しく親しみの持てる企画が多く報告された（別紙-3）。

3. 本協会の活動状況

(1) 正会員等の水道週間実施細目の決定及び協力依頼

国土交通省による「第67回「水道週間」実施要綱」に基づき、実施細目を策定し、全正会員に通知するとともに協力を依頼した。

(2) 水道週間ポスターの作成配布

今年度のポスターは、第67回水道週間スローガン「透き通る 誇れる水に 感謝する」及び第66回水道週間協賛「懸賞募集」図画の部（小学校高学年）の特選作品を用いて作成し、水道事業者が安全で良質な水道水の安定的な供給を目指している中で、限りある水資源の大切さを国民に意識してもらえるものとした。作成した約40,000枚のポスターは、日本水道新聞社作成の水道壁新聞とともに、正会員・関係団体等に配布した。

(3) 水道週間各種広報資料の作成及び頒布

本協会では、水道事業者の各種広報活動に利用いただけるよう次の広報資料を作成し、頒布している。

①みんなの水道2025（B5判：8頁）注文：50冊単位 @2,200円（税込）

日本の水道事業の現状とこれからの水道について、イラスト、写真、水道統計等のデータを中心に、グラフや図を用いて解説したパンフレットで、一般向けや水道施設見学等の参考資料として利用されている。

②水道の話シリーズ第59集－水道ずかん－（B5判変形：8頁）注文：50冊単位 @1,650円（税込）

水の大切さをはじめ、水道の役割、施設の働き等について、イラストを用いて絵本風にまとめたパンフ



図-2 みんなの水道2025表紙

レットで、小学生を対象とした水道施設見学等の広報資料として利用されている。今年度は、水道を身近に感じてもらうため、町の中や家の周囲に存在する水道施設の場所や役割を図鑑形式で紹介する内容としている。



図-3 水道の話シリーズ第59集表紙

別紙-1 広報ビデオの上映について

事業体名	題名	制作者	媒体の種類	映写の機会	対象者
気仙沼市	市役所だより	気仙沼ケーブルネットワーク株式会社	データファイル	施設見学	小学校児童
いわき市	未来に引き継ぐいわきの水道	いわき市水道局（有ABCいわき）	DVD	イベント開催時（YouTube視聴可）	水道利用者
八戸圏域水道企業団	みんなの水道のおはなし	八戸圏域水道企業団	DVD	イベント開催時	イベント来場者
横浜市	水をはぐくむ緑のダム～水源林の働きを学ぼう～	横浜市水道局	YouTube	イベント開催時	イベント来場者（イベント会場の1ブースにてループ再生）
神奈川県	水道学習コンテンツ「バーチャル浄水場」	神奈川県企業庁	ウェブサイト上のYouTube動画	イベント開催時	主に小学4年生向け
小田原市	高田浄水場再整備状況の動画	再整備事業受注業者	—	水道週間イベント開催時	イベント参加者
上尾市	「わたしたちの水道」～みず丸くん 水の旅～	水道産業新聞社	DVD	水道週間浄水場見学	見学参加者
狭山市	ミストの旅 ～水道水が届くまで～	（企画）狭山市上下水道部（製作）日テレアクセスオン	DVD	パネル展示開催時	市民
安中市	安中市水道事業創立70周年記念事業	（株）ジーシーシー自治体サービス	SDカード	久保井戸浄水場一般開放	一般開放来場者
水戸市	水道水ができるまで	水戸市上下水道局水道部	データファイル	イベント開催時	イベントに参加していただいた方全員
甲府市	あたりまえの、裏にあるもの	甲府市上下水道局	YouTube	イベント開催時	子どもから大人まで
愛知県	あいちの水道 ARISU in WATERLAND	愛知県企業庁	DVD	浄水場施設案内時	浄水場見学者
岡崎市	みんなで学ぼう、考えようのみ水ができるまで 浄水場のしくみ	岡崎市上下水道局	DVD	イベント開催時	限定しない
瀬戸市	瀬戸市浄水場 ～水道水ができるまで～	瀬戸市	DVD	施設見学会	参加者
豊田市	森が育てる水	豊田市上下水道局総務課	データファイル	豊田市ホームページに掲載（YouTubeリンク）、地域情報番組	豊田市の水道利用者
沼津市	沼津市送水管理センター世界遺産「富士山」の恵み	沼津市	データファイル	街中モニター、市役所モニター	市民
伊那市	水道料金はどのように使われているの？	伊那市（水道部・秘書広報課）、伊那ケーブルテレビジョン（株）	DVD	展示イベント	市民（対象者は特定していない）
上田市	みんなでミライにつなごう ずーっと安全安心な水道	長野市上下水道局、長野県企業局、上田市上下水道局、千曲市、坂城町	データファイル	施設見学会	限定しない
岡谷市	岡谷市の水道水ができるまで	岡谷市水道課	YouTube 動画の上映	イベント開催時、市主催の出前講座	一般市民
新潟市	水道水ができる仕組み	公益財団法人 新潟水道サービス	DVD	浄水場一般公開	浄水場一般公開の来場者
吹田市	みんなの水道	吹田市水道部	DVD、データファイル	水道展開催時	来庁者
高槻市	自ら水から備えよう 一たかつき『みずから』防災一	高槻市水道部	DVD	市中央図書館での展示の一部にて開館時間中放映	市中央図書館利用者
守口市	もりぐちの水道	守口市水道局	DVD	イベント開催時	イベント開催時参加者のうち希望者
神戸市	水道修繕受付センターのご紹介、知って安心 災害時給水拠点!!	神戸市水道局	MP4	イベント開催時	市民
伊丹市	「ウォーターくんの旅」～水道の水ができるまで～	伊丹市上下水道局	DVD	浄水場見学会など	浄水場見学会参加者

事業体名	題名	制作者	媒体の種類	映写の機会	対象者
加東市	「発見!実験!水のちから」 & 「広沢浄水場 完成記念式典のニュース映像」	加東市ケーブルテレビジョン	データファイル	イベント開催時	イベント来場者
大津市	Otsu Water Planet ①君に知ってほしい水のこと ②水道水が届くまで ③みんなが知らない浄水場のセカイ	大津市企業局(立命館大学との共同制作)	YouTube 及び DVD	6月7日に大津市立図書館の視聴覚ホールにて親子向けに上映を行った。	大津市民等
広島市	R7水道週間 街頭映像	職員	WMV	広島駅南口地下広場の大型モニターでの放映、各区役所広告モニターでの放映	通行人、区役所を訪れる人
岩国市	「水」のおはなし	内閣官房長官水循環政策本部事務局	データファイル	イベント開催時	市民
沖縄県	石川浄水場見学ビデオ	沖縄県企業局	データ	イベント開催時	イベント参加者
石垣市	緩速ろ過法	JICA	DVD	パネル展示会場	パネル展示会場来庁者

別紙-2 水道出前授業の実施について

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
白石市	水道管に感謝を込めて	令和7年5月21日(水) 10時~11時 水道に興味をもってもらうことを目的に、布設管工事で使用する水道管にメッセージを書いてもらい小学校の前に埋設した。	上下水道事業所職員	小学生(4年生)
上山市	東地区公民館活動事業に係る少年教室「水道探検」	上山市の「水道のしくみ」の話、施設見学・1時間30分	上下水道課職員3名	小学校1年生~6年生
野田市	水道出前教室	水の大切さとともに水道の役割について理解を深めてもらうために、各小学校で出前教室を開催。授業は、絵の具の水をきれいにする児童参加型の実験やパンフレット等を通して、目で見てわかりやすく、楽しく学べる内容で実施。	水道部職員4名以上	市内小学4年生
山武郡市広域水道企業団	水道出前講座	私たちの生活に欠くことのできない水道について興味・関心をもっていただくため、山武地域の水道事業について説明。時間は45分。	事務職・課長、副主査、主任主事の3名	給水区域内小学校の4年生
甲府市	こうふ亀屋座ぐるりスポットで「水の妖精 WATTS (ウォッツ)」と水道水ができるまでを学んでみよう!	汙過装置を使って、水をきれいにする実験と残留塩素濃度を薬剤を入れて、色の濃さや濃度を比較して、飲料水として適しているかを確認してもらう実験。(各10分程度)	浄水課水質係 技術職員係長1名、主任1名	イベント参加者
愛知県	出前講座	内容:各小学校に出張し、愛知県の水道や水処理について講座を行う。 時間:1時間未満	愛知県企業庁職員	給水区域の小中学生
豊川市	上下水道出前講座	内容:水の循環を基本とし、豊川市の浄水場施設・豊川の浄化センターの紹介を行い、その後、汙過機を用いた汙過実験及びトイレペーパーの溶解実験を行う 時間:1時間程度	1講座につき2~3名	豊川市内の小学校4年生
半田市	水道出前講座	・水の大切さ ・浄水場の仕組み ・災害の備え ・汙過実験	水道部職員各回4名	市内小学校の4年生
静岡市	出張授業	静岡市の水の流れを知ろう!(45分又は90分) 水道水ができるまでの工程や下水道の仕組み、災害時の備えについて説明、実験	市上下水道局職員(事務職・専門職) ※人数は、学校により異なる。	小学4年生
富士市	水道出前講座	・本市の水道事業の概要 ・本市の水道水は、そのすべてが地下水で賄われていて水資源にとっても恵まれていること ・水源地からポンプで地下水を汲み上げて配水池を経て配水される仕組み ・本市の水道水にまつわるクイズの出題 ・災害時の対応について ・説明、質疑応答で40~45分程度	上下水道部職員(技術職員1名、事務職員1名)	小学校4年生

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
岐阜県	水道出前講座	水道事務所職員が小学校を訪問し、水をきれいにする実験を通じて、児童に水道の大切さを伝える。各クラス95分間	水道事務所職員4名	受水市の小学4年生2クラス計60名
養老町	水はどこから	水はどこから、施設見学、水道配管や器具の説明 1時間程度	技術職・役場職員2名	小学生4年生、4学校
高岡市	高岡の水道と下水道～水はどこから来てどこへ行くのか～	座学にて、浄水場・下水道処理場の仕組みおよび高岡市内の上下水道施設を紹介する講義を行った。その後、浄水場の仕組みとして、水をきれいにする仕組みを真似た実験を行った。(浄水場で使用するPAC、次亜塩素酸を使用した浄水実験)5月下旬から6月中に高岡市内17校、児童987名に対して実施(予定)。1校につき1時間×クラス数(合計35時間実施(予定))	1校の授業につき、上下水道局総務課経営企画係1名と、上下水道局総務課他係または他課より2名動員し、3名体制にて(職種・職務名は多種多様)	高岡市内の小学校4年生児童
滑川市	水道出前授業	小学校に訪問し、水道のしくみや水道施設、水道料金等について説明した。(45分間)	課長補佐1名	小学校4年生40名
岡谷市	水道水ができるまで	時間:60分 水道水の生成過程についての体験学習	水道課職員	小学4年生(期間中の実施について申請があったもの)
門真市	出かける水道教室	水道事業に携わる職員が講師として学校へ赴き、子ども達に簡単なクイズや実験を体験してもらい、普段利用している水道水についての理解を深めてもらっている。時間については、1限45分の時間を2限使って実施予定。	上下水道事業に携わる職員(事務職、技術職、化学職)5～6名	市内小学校の4年生を対象
甲賀市	水道学習会	水の大切さ、水道水ができるまで、給水車の見学等(2h)	上水道課職員4名	市内小学校4年生
尾道市	小学校への出前授業	上下水道局職員が講師となって、午前中の3校時と4校時で授業を行う。3校時は「飲み水ができるまで」「(簡易)汚過装置をつかった実験」と題して水ができるまでの過程の説明や実験を行い、4校時は地元の管工事協同組合の協力のもと、「漏水管の修理」と題し模擬修理の実演や、災害時などで水が使えなくなった時を想定した給水車からの「応急給水」を体験してもらった。	上下水道局…技師10名・主事1名(浄水係/技師3名・水質管理係/技師2名・水道維持係/技師1名・給水係/技師2名・総務係/主事2名)管工事協同組合…水道工事業者2業者/4名	尾道市内の小学4年生(1校)
岡山市	出前講座	小学校4年生を対象とし、45分間で①浄水実験②水道水が届くまでをテーマとした座学を実施	【講師】事務職1名【補助】事務職3名	児童27名
山陽小野田市	水道小学生出前講座	・水道について ・汚過実験 45～90分	水質職員他4名程度	小学4年生
徳島市	徳島市の水道教室	水道の歴史や社会への役割、また安全・安心な水道水に対する理解と関心を深めていただく。小学校の1時間限(45分)	職員3～5名	市内小学4年生
岡垣町	岡垣水ヒストリー2024	岡垣町の水道事業のあらし(9時～15時)	上下水道課 上水道工務係長1名	地元住民(吉木工区コミュニティ)行政区内の高齢者向けサロン
鞍手町	上水道出前講座	令和7年6月6日(金)10時～11時 水道水が出来るまで	ヴェオリア・ジェネッツ(浄水場運転管理者)所長、20名	小学校児童
宇城市	小学生三角浄水場見学	6月17日9時～12時	上下水道課職員2名、浄水場職員1名	児童20名
日南市	50年・100年後も安心安全な水道を目指して	資料で水道の仕組み等説明、浄水場内を見学 9時～10時30分	水道課職員(事務職員、技術職員、3名)	小学生
鹿屋市	水道出前講座「水道教室」	①水道教室 内容:水道週間の趣旨、水とくらし、浄水施設のしくみ、汚過実験、クイズなど/時間:45分 ②浄水場見学 内容:浄水場・資料館の施設の説明・見学など/時間:30～40分	①水道教室 職種:事務職、技術職/職務名:係長、主査、主任主事、会計年度任用職員/4～5名 ②浄水場見学 職種:事務職、技術職/職務名:課長補佐、主査/1名	市内小学校4年生

事業体名	名称	内容・時間	講師 (職種・職務名、人数)	対象者
沖縄県	水講座	浄水場で行っている原水から浄水への作業（にごりを沈める、汙過する、塩素を加える）の説明及びにごりを沈める実験を行う。 30分/回 計4回	職種・職務名 水質担当、 人数2名	イベント参加者のうち受講希望者(75名/回)

別紙-3 その他イベント・行事の開催について

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
千歳市	水道事業クイズ	水道事業に関するクイズを実施し、正解者の中から抽選で100名にマイボトル（ステンレス製容器、標語入り）を配布する。	千歳市民	インターネットからの応募
北見市	デジタル展示	北見市のホームページ上で水道水ができるまでの過程や正しい手の洗い方、暮らしや遊びに役立つ水道の豆知識などを紹介。	限定しない	北見市ホームページ
苫小牧市	「とまチョップ水コレクション ガチャガチャキャンペーン」	当たり入りのガチャガチャキャンペーン。当たった方に「とまチョップコレクション」ガチャ5個入りセットをプレゼントする。	市民、市役所来庁者	苫小牧市役所、苫小牧観光案内所
多賀城市	市主催のイベント（第35回多賀城跡あやめまつり）へのブース出展	利き水体験・給水車からの給水体験・耐震管の模型やパネル等の展示・水ヨーヨーつり等	イベントに来場した市内外の方	多賀城跡あやめ園
いわき市	水の実験コーナー	浄水工程のうち沈澱、汙過を簡易的に体験していただく実験	子供	イベント会場
白河市	ポスター・標語の掲示による水道週間の周知	庁内掲示場へのポスター掲載 小中学校でのポスター掲示 のぼり旗の設置 SNS・新聞への投稿	市民	市役所・小中学校・水道関連施設等
双葉地方水道企業団	パレード	広報車を利用した水道週間についての周知活動	水道利用者全般	構成町内全域
八戸圏域水道企業団	水に関するポスター・写真展	水道週間行事の一環として募集した「水に関するポスターコンクール」と「水のある生活・風景フォトコンテスト」入賞者の作品を展示した。	受賞者、来庁者	企業団庁舎
鶴岡市	ロビー展示	鶴岡市水道の基本理念、事業概要の展示（紙）、水道メーターボックス、給水袋（水入り）等の展示	一般市民	鶴岡市役所ロビー、三川町役場ロビー
一関市	お楽しみコーナー	配水地の標高を模した標的への輪投げ、水源地別の水道水の飲み比べ等	小学生	募集した作品の表彰式会場に隣接
久慈市	水道週間企画展	久慈市立図書館において企画展を開催していただき、パネル・模型展示に合わせて上下水道関連図書の貸し出しを実施してもらった。	図書館利用者	久慈市立図書館
横浜市	水道週間イベント	令和7年6月7日（土）に横浜市役所1階アトリウムにて実施。 12のブースを設け、出展した所属の各事業に関する体験。	子育て世代を中心とした全世代	横浜市役所1階アトリウム
座間市	水道ふれあいフェア	上記回答の他、市ボトルドウォーター「ざまみず」の配布、市マスコットキャラクター「ざまりん」と「ざまみず」マスコットキャラクター「ざまみずくん」のグリーティングを併せて行い集客率を上げた	全年齢	イオンモール座間店
神奈川県内広域水道企業団	横浜市水道局水道週間イベント	・ブースにて、企業団の事業説明及び広報グッズ配布、パネル展示、河川清掃コーナー等の展開	横浜市民を中心とした県民・市民	横浜市役所
流山市	水道ポスター展	前年度に募集した水道に係るポスターを公共施設等に展示	市民	流山市役所本庁1階ロビー及び流鉄流山線車両内
習志野市	おうちで水質検査体験	申込のあった方（定員：100名）に対し、簡易水質検査キットを配布し、自宅で測定体験していただく。その後、インターネットから結果を報告していただく。	習志野市市営水道をご利用の方	自宅等
さいたま市	水道週間イベント	水質検査体験、利き水	市民	さいたま新都心駅東西自由通路
鴻巣市	水道管水鉄砲づくり教室	第67回「水道週間」における啓発活動として、水道管水鉄砲づくり教室を6月7日（土）に実施した。	市内在住の小学生と保護者	市役所敷地内
富士見市	水袋の配布	市役所や公共施設に水袋を置き、市民の方に配布した。	市民	市役所や公共施設

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
秩父広域市 町村圏組合	水道週間標語入り 花の種の配布	水道週間にあたり、水道事業に関心を持ってもらうとともに水の大切さを啓発するため、水道週間標語入りの花の種を配布した。	構成市町の各小 学校3年生児童	各小学校を通して 配布
安中市	久保井戸浄水場一 般開放	久保井戸浄水場一般開放時に、下記の催しを実施した。 給水車・設置型給水タンクの展示、非常用飲料水袋注水体験、緊急用小型浄水機稼働実演、利き水、ペットボトル実験、見学者景品抽選会、当水道事業作成「あんなか霧積の水」の配布、鉢花・かき氷・ポップコーン等の配布	一般開放来場者	久保井戸浄水場
高崎市	環境フェア2025	環境部門及び下水道局と合同で水道週間イベントを開催	全市民	市清掃センター
水戸市	水道に関する体験 教室	・ペットボトルを使った戸過装置の作成体験 ・応急給水器具（コンボライフ）の組立て体験 ・給水袋の運搬体験	市内在住の小学 生とその保護者	水戸市役所本庁舎 1階多目的ルーム
茨城県南水 道企業団	ポスティングによる 加入促進	水道加入促進のグッズ（水道加入促進のチラシ、給水加入金軽減措置の案内、ティッシュ）のポスティング	配水管整備済み 地区の未加入世 帯（5地区・配 布予定307世 帯、実際配布 229世帯）	配水管整備済み地 区の未加入世帯
岡崎市	水鉄砲づくり、缶 バッチ・マグネットづ くり、消火栓噴水 ショー	・使わなくなった水道管を使った水鉄砲づくり及び的当て ・岡崎市上下水道局マスコットキャラクターや配水塔のデザインの缶バッチ・マグネット制作 ・場内にある消火栓を使った噴水ショーを実施	イベント参加者 (主にこども向け)	イベント会場（男 川浄水場）
豊川市	図書館コラボ展示	水道に関する書籍の展示、テキスト「とよかわ市の水道」を抜粋して展示、水道週間のポスター掲示、期間中の6月7日には、水の缶詰・給水袋を配布	豊川市中央図書 館利用者	豊川市中央図書館
伊東市	給水車の操作方法 等の実技講習会	水道週間に合わせて、給水車の操作方法等を実技訓練し、職員の意識向上と防災訓練を兼ねた講習会とした。	水道課職員	大川浄水場
掛川市	水道感謝のつどい	水道発祥の地にある水神宮にて、水道事業関係者（50人程度）が集まり、水道事業の継続についての重要性や感謝を市長から伝えた。	水道事業関係 者、市議会、地 元住民	掛川市内
島田市	図書館に水道週間 特設コーナーを設 置	「水の大切さ」をコンセプトに特設コーナーを設置。「水」に焦点をあてた絵本や児童書、水道部品やポスターを掲示。 幼児、小学生を対象とした絵本の読み聞かせの実施。	幼児、小学生、 その親	島田図書館
沼津市	沼津茶の呈茶サー ビス、ゆうすいくん キャラクターグリー ティング、給水車展 示	水道施設（水源地）見学会実施と同時に、日本茶インストラクターによる水源地の湧水を利用した呈茶サービス、清水町キャラクターである柿田川湧水から生まれたゆうすいくんのキャラクターグリーティング、給水車からの給水体験を行った。	水道施設（水源 地）見学の来場 者	泉水源地
富士市	断水被害を想定し た作業訓練	①配水管ブロー（洗浄）訓練…濁水等の発生を想定し、消火栓・排泥弁を操作して行うブロー作業、非常用給水栓の組立て設置及び取扱い。 ②応急給水訓練…給水車用給水栓の組立て、給水車への給水操作、給水用タンクのトラックへの積載、非常用飲料水袋への注水。	上下水道部職員	送水場等
三島市	高校生によるフラ ワーアレンジメントの 展示	ガーデニングや観葉植物等への水やりによる水需要を喚起するため、静岡県立田方農業高等学校の生徒たちによりフラワーアレンジメントを庁舎前に設置して、水道週間の広報活動を行った。	不特定多数の市 民	市役所庁舎玄関前
大野市	第61回越前おおの 名水マラソン給水所 (2025年5月25日)	大会会場本部付近（スタート・ゴール付近）にて無料の給水所を開設、やかんに水を入れて冷やした水道水を紙コップにてランナーや関係者にふるまいました。また給水所には水道週間のポスターや壁新聞を掲示し、水道水のPR活動を行いました。	参加ランナー、 大会関係者、等	大会会場本部付近
駒ヶ根市	水源祭	安全祈願	主催：駒ヶ根市 水道指定店組合	切石浄水場
佐久水道企 業団	一日企業長	水道モニターとして活動されている佐久水道女性水の会の副会長に一日企業長を体験してもらい、水道事業への理解と関心を深めてもらった。	利用者	事務所・水道施設

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
豊中市	「水に関する図書の特設コーナー」	市内4か所の市立図書館に「水に関する図書」の特設コーナーを設置し、水に関するさまざまなジャンルの図書を紹介。広報誌・啓発ハンドブックの配布や応急給水袋・備蓄水の展示。また、上下水道局庁舎でも「水」をテーマにした図書コーナーを常設し、能登半島地震における支援活動の様子等展示。	図書館、上下水道局を利用する一般市民	岡町図書館・千里図書館・庄内図書館・野畑図書館・上下水道局庁舎
貝塚市	給水車の展示	貝塚市の給水車の展示	市役所来庁者	市役所本庁正面玄関
高槻市	中央図書館での展示	・市中央図書館にて、水道事業の経営、ペットボトル水と水道水の費用面と環境面での比較、水道水の美味しい飲み方の紹介による水道水の利用促進、水道施設や耐震管の紹介、水道水を利用した家庭での水備蓄や給水拠点の周知など防災啓発に関する展示を実施 ・市営バスの扉横広告スペースに水道管の耐震化に焦点をあてた広告シートの貼付	中央図書館利用者	中央図書館入り口付近
東大阪市	水道週間2025	①給水車の記念撮影 ②水処理体験（ペットボトルで作成した汚濁機による簡易な実験） ③パネル展示（「能登半島地震での応援活動」「もしまに備えて災害時の応急給水」） ④大阪広域水道企業団一斉イベント：災害用備蓄水等の配布 ⑤営業業務の包括委託受託者による口座振替の促進及びスーパーボールすくい等	市民等	フレスポ東大阪
伊丹市	水の本特設コーナーの設置	図書館にて水や水道に関する本の特設コーナーを設置	図書館来訪者	伊丹市立図書館（北分館・南分館）
大津市	水道ブックフェア、マイボトル作成ワークショップ	大津市立図書館にて、6月1日から25日まで水道に関する本を集めて展示し、積極的な貸し出しを行った。また、6月7日にはマイボトルを作成するワークショップを開催した。	大津市民等	大津市立図書館
愛知郡広域行政組合	工事組合による工場視察	当組合の工事組合によるバルブ製造工場の視察。	工事組合による工場視察	(株)清水鐵工所
広島市	水道週間プレイベント「ひろしまフラワーフェスティバル」(広島市最大級イベント)への出展	広報パネルを使用したクイズラリー、安芸太田町マスコットキャラクター「もりみん」と広島市水道局マスコットキャラクター「じゃぐちー」との記念撮影、デジタルサイネージを活用した「命の水～ひろしま水道物語」の紹介、マイボトル対応型給水機等による冷水サービス、間伐材積み木を使用したゲーム、「じゃぐちー」の顔出しパネルの設置、水道局公式 X アカウントの周知	主にファミリー層	平和大通り（広島市中区）
下関市	水道展・習字コンクール入賞作品展	シーモール2階セントラルコートにて利き水体験や、スーパーボールすくいを行う。 習字コンクールで入賞した作品と水道事業のパネルを、1週間シーモール2階ピアモールにて展示。	来場者	シーモール2階セントラルコート・2階ピアモール
宇部市	稚鮎の放流	水道局職員と水源地域の保育園児にて稚鮎を放流	—	宇部市小野 大田川の宇内橋たもと
下松市	第40回くだまつ花と緑の祭典（下松市共催）にブース出展	ブース展示 パネル展示（上下水道局の日常業務や応援給水の様子について） 浄水模型、給水車の展示 上下水道に関するクイズとアンケート	祭の参加者	キラル（下松タウンセンター）多目的広場ほか（ゆめタウン下松前）
光市	第25回水道まつり	光市水道局の企業目標である「100年後も変わらない「安心」を蛇口から」をメインテーマに、様々なイベントを通じて、市民の方々に幅広く水道への理解を求めるもの	一般市民（市内外問わず）	光市水道局林浄水場
美祿市	蛇口用パッキンの無料配布	蛇口用パッキンの無料配布	市民	上下水道局及び分室窓口
高知市	水のふるさとフェスティバル2025	水道週間に合わせて、毎年実施しているイベント高知市の上下水道事業を知ってもらうこと、高知市の水源流域（土佐山・鏡地区・土佐町・仁淀川町）との交流を目的としたイベント。イベントでは、局各課のブース（水に関する実験コーナーなど）や水源流域の物産店を出店。	高知市民	東洋電化中央公園
大川市	第67回水道週間パッキン・ボールペンプレゼント	水道週間中に大川市役所上下水道課窓口に来庁された方に蛇口用パッキンとボールペンをプレゼント（プレゼント希望者のみ）	大川市在住者	大川市役所上下水道課
春日那珂川水道企業団	水道週間イベント	利き水体験やコインゲームを実施したほか、給水装置模型やパネルを展示して「水道事業の運営」について説明を行いました。	春日市及び那珂川市の住民	春日市役所及び那珂川市役所

事業体名	イベント名 行事名	内容	ターゲット	開催場所
大分市	大分市環境展	大分市の他課が主催するイベントに出展した。 上下水道クイズを実施し、回答者にクリアファイルをプレゼントした。 開催日時：6月7日（土）午前10時～午後1時30分	親子	大分市ガレリア竹町ドーム
佐賀市	佐賀城下栄の国まつり	まつり会場に上下水道局ブースを設置し、きき水（水道水とミネラルウォーターの飲み比べ）等を実施した。	—	—
人吉市	漏水調査	地元管工事協同組合と合同で給水管の漏水調査	市内各戸	熊本県人吉市城本町・下城本町の各一部
沖縄市	WaterWeek2025	水道週間図画展示、上下水道局主催イベント、管工事協同組合協力イベントなどを行なった。水道週間に併せて6月2日～8日の間、図画展示を実施し、また水道事業周知のため上下水道局・管工事協同組合などが協力し、子供を中心としたイベントのおでかけどうぶつやサイエンスショー、海上保安部お仕事紹介などを通して楽しんだ。	市内小学生以下の児童とその親	沖縄市上下水道局内